



ARTIST NO KOSODATE? / Interview / No.07

ARTIST
NO
KOSODATE?

アーティスト
の
子育て

01 住まい 神奈川県

02 年齢 40代

03 性別 男性

04 子どもの数 1人

05 子どもの年齢 1歳

06 作家活動以外に仕事をされている方は、
可能な範囲でお仕事の内容を教えてください。

カメラマンとして、雑誌やウェブメディア、企業などから依頼を受けて撮影しています。作品制作では波やサーフィンを主題にしています。仕事ではサーフィン、アウトドア、ファッション、商品撮影、建築、その他ジャンルなど色々な撮影をしています。スタジオを運営していて月に何回かレンタルスタジオとして貸し出すこともあるので、その対応も仕事のひとつです。最近は動画撮影の依頼も増えてきました。仕事が優先で、空いた時間に作家活動をしています。

07 保育園・幼稚園などの保育サービスを利用していますか？
または過去に利用しましたか？

はい いいえ

08 (07)が「はい」の場合、預け先は？

保育園 通常保育 一時保育 認可 認可外 幼稚園 ファミリーサポートセンター
 その他

0歳児クラスに4月から入園させたくて、第8希望まで書いて申請したら、第1希望の保育園に入ることができました。生後7か月から通い始め、約半年が経ちます。特に事前に認可外に通わせるということとはしなかったのですが、夫婦共働きなので、それが入園できた理由かもしれません。

子どもが熱を出して、保育園から呼ばれることもあるので、すぐにお迎えに行けるような体制を作っています。僕も長期でロケに行ってしまうことがあるし、妻も仕事で何日が帰ってこれないことがあるのですが、夫婦間でちゃんと予定のすり合わせをして、僕か妻のどちらかは家にすぐ帰れる距離にいるように調整しています。

09 お子さんをもった後、作品制作時間はどう捻出していますか？〈複数回答可〉

保育園や学校に行っている間 睡眠時間を削る 子どもが寝てから 早朝 実家・親に預ける
 配偶者に預ける 仕事の合間 仕事が休みの日 捻出できない その他

実家が近いので、保育園が休みの土日は、両親に来てもらって子どもの面倒を見てもらい、その間に仕事をする時もあります。子どもができてからは、仕事を断ることもだいぶ多くなりました。長期のロケの依頼がきても、簡単には引き受けられなくなりました。葛藤はありますが、子ども優先と割り切っています。妻は子どもが生後2か月くらいの時に仕事に復帰しました。まだ子どもを保育園に入れてない時期

に、妻が仕事で5日間くらい家を留守にしたことがあって、その間は僕が子どもの面倒を見ました。もう大変で、育児鬱になる人の気持ちが分かるなと思いました。ほんの5分10分でいいから誰かに見てもらえるとありがたいのに、そんな隙間の時間さえなくキツかったです。生後1か月くらいで母乳をやめて粉ミルクにしたので、僕は授乳も含めて育児を一通りできるようになったのですが、母乳だけで育てている人は本当にすごいなと思いました。保育園に預けるようになってからは、すごく楽になりました。預けられるのは7時15分から18時15分まで、月曜日から金曜日まで最大限預けています。

話はそれますが、先日子どもが手足口病になって、僕も移ってしまいました。ちょっと発疹が出たくらいで済みましたが、僕の知り合いは、水泡がつぶれてぐちゃぐちゃになって手の皮が全部剥けたらしいです。大人がかかると重症化して、すごく痛くて歩けないとも言っていました。病児保育も登録しようかと思ったのですが、病氣中に不慣れな場所に預けるのは気が引けてしまい、今はまだ登録していません。

ただ、個人で仕事を受けていると代わりの人がいないので仕事を休めないプレッシャーは相当あります。撮影は多くのスタッフと動くことが多く、僕が休んでしまうと全体の仕事がストップしてしまう事もあるので、休むのは基本あり得ないです。でも子どもから熱をもらってしまって39度に達した時は、このコロナ禍なのでやめておこうということで、当日の朝、急遽撮影に行けるカメラマンを探してもらいました。十数年この仕事を続けていますが、今まで休むことはありませんでした。今までは自分の体調管理だけで良かったけれど、家族全員が健康でいられるよう心がけています。

**10 一日のうちで、①育児にかかる時間、②作家活動にかかる時間、③作家活動以外の仕事にかかる時間は、お子さんをもつ前と現在とではどう変わりましたか？
およその時間を教えてください。**

- ① 育児：0時間 → 5～16時間
- ② 作家：0～8時間 → 0～3時間
- ③ 仕事：10時間 → 6時間

海やサーフィンを撮影するうえで、太陽光の美しさはとても重要です。特に秋から冬にかけては光がきれいなので、その時期はできるだけ時間を作って作品制作に取り組んでいます。仕事は、子どもが生まれてから5分の4くらいにセーブしています。

11 お子さんをもった後、作品制作の環境(場所)は変わりましたか？

撮影対象がサーフィンや波など野外なのは変わらないです。
今は川を主題にした作品作りもしていて、大判カメラで撮って自分で現像して暗室でプリントしています。暗室は、以前は自宅内に作っていましたが、今は都内のレンタル暗室で作業しています。自分の作品やフレームなど、かさばる上に普段使わないものは全部実家に保管しています。

12 お子さんの存在が作品に影響し、作風や扱う素材、制作方法などは変わりましたか？

変わってないです。

13 コロナ禍が子育て中の制作に何か影響を及ぼしましたか？

保育園の行事は軒並みコロナで中止または縮小してしまって、保護者たちとの横のつながりが残念です。子育てとは直接関係ありませんが、コロナ禍になって、撮影場所が地元のみになってしまいました。逆に言うと、改めて地元を見直す機会にはなりました。

14 子育て中の制作において、どのような工夫をしていますか？

ネガティブな意味でなく、制作を断念する、諦めるということですかね。今は手がかかる時期だけど、それも一時的なものだから、子育てを楽しむという風に考え方を切り替えました。

もし20代の時に子育てしていたら制作や仕事との板挟みですごい葛藤があったと思うんですが、40歳過ぎてから授かった子どもなので、少しはやりきった感があって、そういう面ではよかったかなと思う事もあります。

仕事については、今後はスタジオで商品撮影をする仕事を増やそうかなと考えています。それなら自宅を長く留守にしなくて済みます。それに、これからは雑誌などの紙媒体が減って、ますますネットの需要が大きくなることも踏まえて、仕事の仕方も変えていかなければと思っています。

ちょっと話が脱線するかもしれませんが、夫婦でアウトドア好きなので、家族3人で一緒に海や山に行ったりしています。子どもを入れるリュックサック、登山用ベビーキャリアがあって、そこに座らせてよく出かけます。子どももそれに乗るのが好きらしく、公園によく連れていきます。あそこの芝はどうだと公園に詳しくなってきました。人が少なく環境がいいところを探して出かけ、滑り台や遊具で遊んだり、おやつを食べたりしてお出かけを楽しんでいます。

家でずっという僕も娘も飽きちゃうので、子どもと一緒に自分たちがいかに楽しめるかを考えています。

15 子育て中の制作について身近に相談できるアーティスト仲間等はいますか？

ほとんどいないです。子育て中の友達はいませんが、子どもが小学生くらいまで大きくなっている人が多いこともあって、とくに相談することはないです。子育ても生後半年くらいまでは不慣れで余裕がなかったのですが、今はだんだんペースをつかんできました。

16 今現在、作家活動をするとしたら、どのようなことをやってみたいですか。

リサーチ 制作 展示 ワークショップ アーティスト・イン・レジデンス その他

将来的には自分の写真集を出したいですね。写真家の場合は写真集と写真展が主な発表の場になるので、アーティスト・イン・レジデンスには今のところあまり関心がありません。

**17 作品制作を継続するためには何が必要だと考えますか？
特に優先順位の高いと思うものを2つ選択してください。**

家族の協力 ひとりの時間 収入 美術に関する仕事への就労 仲間の存在 その他

**18 FAS にどのようなサービス・支援・配慮があれば、
子育て中の作家活動がよりスムーズにいくと思いますか。**

子育て中の作家同士のつながりの場所を作るということをやってもらえるとありがたいです。育児について右も左もわからない状態の時に、先輩たちがどういう風に制作と育児を両立させてきたのかを知ることができると助かります。それは育児本には載っていないことですから。アーティストの生の声を拾ってもらって、webに載せるのか、もしくは座談会みたいなのをやるのか、形態はどうなのがいいかわかりませんが、皆で共有できたらいいなと思います。

それから、制作する親を子どもの目線から見てどう思うのかに興味があります。もし自分が子どもだったら、親には好きなことをやって欲しいなと思いますが、作品制作に没頭され放っておかれるのも嫌だなと。なので制作と育児のバランスについて考えます。幼少期の子育てが人間形成にすごくかわってくるでしょうから、も



しかしたら作品制作の時間を子どもに費やした方が良いのではと考える事もあります。

19 **お子さんの手が離れたら、どのように活動をしていきたいですか？**

長期で出かけて撮影に取り組みたいです。